

令和3年度(2021年度) 事業計画

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

(概要)

令和3年度の事業計画は、Covid-19 感染拡大の影響が不透明ながら、前年度計画比 70 万円減の 5,710 万円としました。減少の内訳は海外関連事業の微減で、以下の通りです。海外研究医受入助成が 2 件減(△60 万円)となりますが、海外短期留学助成が令和2年度の繰り越し含む 3 件増(+150 万円)、海外派遣助成を Covid-19 感染拡大の影響が多少生じることを予測し、前年度計画 25 件の 7 割として 7 件減(△160 万円)といたしました。

その他は、選考委員会や贈呈式関連費用で、会場開催を前提に一昨年度と同じ 380 万円の計画とし、以上により、全体で 5,710 万円の事業計画を立案致しました。

(内容)

摘要	金額	備考
1.定款第4条(1)の事業	2,800 万円	内視鏡医学研究に対する研究助成 研究助成(A) 2 件 研究助成(B) 38 件 多施設共同研究助成(新規) 2 件 同 2 年次分 2 件 同 3 年次分 3 件
	350 万円	海外に短期(2-3 ヶ月)で留学する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外短期留学助成 7 件 (前年度繰越分 4 件・新規 3 件)
2.定款第4条(2)の事業	200 万円	内視鏡医学研究に功績のあった者に対する顕彰 4 件
3.定款第4条(3)の事業	330 万円	内視鏡医学に関する研究会の振興に対する助成 研究会助成 11 件(1 件 30 万円)
4.定款第4条(4)の事業	1260 万円	内視鏡医学研究のため来日する海外研究医に対する助成 海外研究医受入助成 31 件(12 施設 21 カ国) ロシア 3 名・マレーシア・台湾・ミャンマー・カンボジア・タイ・中国・ブラジル・インドネシア各 2 名、ベトナム・インドネシア・シンガポール・ガザワタン・インド・ネパール・アメリカ・キューバ・スペイン・ギリシャ・バラル・シナイ・ジェリア 各 1 名
5.定款第4条(5)の事業	390 万円	内視鏡医学研究のため国際学会に参加する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外派遣助成 18 件
6.その他	380 万円	助成事業に関連する会議費 選考委員会及び贈呈式等開催費用
事業計画計	5,710 万円	